

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 2
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0, 2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150575009001	科目番号 / Subject code	05750090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	● 日本事情		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	源島 福己		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松島 大輔		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松島 大輔		
科目分類 / Class type	留学生用科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[グローバル教育・学生支援棟] セミナー室(3)		
対象学生 (クラス等) /Object Student	留学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fgenjima@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育センター2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2238		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日16:10～17:40		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	日本社会の雇用環境の現状を通して、仕事の意味を考える。また授業で将来の職業選択や就職活動に欠かせない基本的な知識を学び、無業や失業、非正規社員や契約社員の増加とそれらがもたらす問題、社会構造の変化や仕事観の変化による様々な職業知識について実践的に学び、キャリアの理解を深める。		
授業到達目標/Goal	日本の企業に必要とされる能力、学力、資格、性格、態度、意欲、経験等の主要な要素とは何か、どの程度必要か、どのようにして高めることができるかを理解し、またそれを踏まえて日本企業で働く場合を想定した実際の就職活動ができるようになる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	日本語と英語の資料に基づいて講義し、その内容についてグループで議論し、議論した内容を発表する。また授業中に小テストを行う。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	ニート、フリーター、キャリア、社会人基礎力、VPI		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	教科書は使用しない。 参考図書：キャリア教育概説 日本キャリア教育学会編		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業中の発言やプレゼンテーションへの積極参加 10点 レポート70点 小テスト20点		
受講要件 (履修条件) /Requirements	・ 高度な日本語の能力 ・ 高度な英語の理解力		
学生へのメッセージ/Message for students	日本語だけではなく英語での授業が数回含まれるので、英語対応能力もある学生を求めます。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	9月30日 (水) 授業のオリエンテーションとアンケート調査		
第2回	10月7日 (水) 大学の就職事情		
第3回	10月14日 (水) ニートとフリーターの問題		
第4回	10月21日 (水) 高等教育におけるキャリア教育の位置づけ		
第5回	10月28日 (水) 社会人基礎力 (英語)		
第6回	11月4日 (水) 私の留学目的と社会人基礎力(プレゼンテーション)		
第7回	11月11日 (水) 企業に関する知識		
第8回	11月18日 (水) 会社と財務諸表		
第9回	11月25日 (水) 会社選びと企業分析		
第10回	12月2日 (水) 企業分析と私の働きたい企業 (発表会)		
第11回	12月9日 (水) 企業分析と私の働きたい企業 (発表会)		
第12回	12月16日 (水) ライフストーリーと自己認識		
第13回	1月6 (水) VPI (職業興味検査)		
第14回	1月13日 (水) 私のVPIと希望する職業 (プレゼンテーション)		

第15回	1月20日（水）私のVPIと希望する職業（発表会）+ まとめ
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 3, 水/Wed 4
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27, 2015/04/01～2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150589000501	科目番号 / Subject code	05890005
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●日本語上級		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松本 久美子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	松本 久美子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	松本 久美子		
科目分類 / Class type	編入学生教養教育科目認定単位, 留学生用科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[グローバル教育・学生支援棟] セミナー室(3)		
対象学生(クラス等) /Object Student	留学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kumiko-m@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教養教育B棟 2 階国際教育リエゾン機構教員室		
担当教員TEL/Tel	819-2242		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜 5 限		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	日本の大学で学習・研究するのに必要な上級レベルの日本語能力(特に読解能力)を習得する。		
授業到達目標/Goal	上級レベルの文法や語彙・表現を習得するとともに、上級レベルの文章を読解する能力を獲得する。		
授業方法(学習指導法) /Method	現代日本について書かれたさまざまな種類の文章を読む。基本的には教科書の課に沿って授業を進める。授業では、本文内容の理解、文型・語彙・表現の確認、文型・表現練習、内容確認、本文の内容に関するディスカッション等を行う。 授業の最初にその課の語彙の小テストを行う。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	上級レベル、読解能力		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	『学ぼう!日本語中上級(日本語能力試験N1対応)』専門教育出版		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業参加の積極性15%、宿題15%、テスト70%		
受講要件(履修条件) /Requirements	日本語能力試験 2 級合格相当、または日本留学試験(日本語科目) 2 0 0 点得点相当の日本語能力を有する留学生		
学生へのメッセージ/Message for students	3 校時目と 4 校時目の両方とも出席すること。一方のみの出席は認めない。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション・第 1 課		
第2回	小テスト・第 1 課		
第3回	小テスト・第 2 課		
第4回	小テスト・第 3 課		
第5回	小テスト・第 4 課		
第6回	小テスト・第 5 課		
第7回	小テスト・第 6 課		
第8回	テスト ・復習		
第9回	小テスト・第 7 課		
第10回	小テスト・第 8 課		
第11回	小テスト・第 9 課		
第12回	小テスト・第10課		
第13回	小テスト・第11課		
第14回	小テスト・第12課		
第15回	テスト ・復習		
第16回			

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 3, 火/Tue 4
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27, 2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0	
時間割コード / Time schedule code	20150589000801	科目番号 / Subject code	05890008	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●日本語上級 a			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	源島 福己			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	源島 福己			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	源島 福己			
科目分類 / Class type	編入学生教養教育科目認定単位, 留学生用科目			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義	
教室 / Class room	[グローバル教育・学生支援棟] セミナー室(3)			
対象学生(クラス等) /Object Student	留学生			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fgenjima@nagasaki-u.ac.jp			
担当教員研究室/Laboratory	言語教育開発センター 2 階国際教育リエゾン機構教員室			
担当教員TEL/Tel	095-819-2238			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日16:10～17:40			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	労働法や就業規則の基礎的な知識を得ることで、日本では労働者の権利は法によってどう守られているのかを学ぶ。			
授業到達目標/Goal	日本で働く場合、労働者の権利や義務について概要を理解しておくことは、雇用される場合に必要で大切な知識である。またそうした知識は日本企業の組織の在り方、仕事の内容、雇用の種類についての理解を促し、自分の職業や働き方の選択についてより賢明な選択を可能にする。本講義では、受講生がこうした労働関係の用語の意味について理解し、その内容を日本語で説明できるようになることを目標とする。			
授業方法(学習指導法) /Method	日本語で書かれた資料に基づいて授業を行う。学生は事前に与えられた資料を必ず読み込んでおくことが必要で、不明な用語や文章の意味について事前に調べ、分からない点は授業中に質問し、与えられたテーマについて小グループで議論し、その内容を発表する。また課題レポートが多く出される他、数回の小テストを行う。			
授業内容/Class outline/Con				
キーワード/Key word	労働基準法、内定、退職、解雇、就業規則			
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	参考図書：日本の雇用と労働法（濱口桂一郎、日本経済出版社）			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	レポート：70点 小テスト：20点 授業参加、議論、発表：10点			
受講要件(履修条件) /Requirements	・N1等の高い日本語能力(特に文章読解力) ・テーマの予習 ・積極的に議論し発表する意欲 ・将来日本企業で働きたいと考えている学生			
学生へのメッセージ/Message for students	高度な日本語の文章を読みます。したがって授業を通して日本語能力を高め将来日本企業で働きたいと希望する意欲に溢れた学生を歓迎します。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	4月7日(火) 授業のオリエンテーション、教員の自己紹介、社会人基礎力のアンケート調査、外国人と雇用等			
第2回	4月14日(火) 日本における雇用と労働法の関係			
第3回	4月21日(火) 日本における雇用と労働基の関係			
第4回	4月28日(火) 日本における雇用と労働法の関係			
第5回	5月12日(火) 社員募集、内定と採用			
第6回	5月19日(火) 企業の人材育成と訓練			
第7回	5月26日(火) 賃金、給与、人事査定			
第8回	6月2日(火) 退職と解雇			
第9回	6月9日(火) 労働時間と生活のバランス			
第10回	6月16日(火) 労働組合			

第11回	6月23日（火）労働者の安全と健康の確保 -ワークライフバランス-
第12回	6月30日（火）労働者の安全と健康の確保 -ワークライフバランス-
第13回	7月7日（火）労働基準法と労働契約
第14回	7月14日（火）雇用形態-正規雇用労働者と非正規雇用労働者-
第15回	7月21日（火）まとめ
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 3, 木/Thu 4
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27, 2015/04/01～2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150589000802	科目番号 / Subject code	05890008
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	●日本語上級 a		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	夢田 美有紀		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	夢田 美有紀		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	夢田 美有紀		
科目分類 / Class type	編入学生教養教育科目認定単位, 留学生用科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[グローバル教育・学生支援棟] セミナー室(3)		
対象学生(クラス等) /Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	miyut@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部棟二階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2240		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日3、4校時(他の曜日、時間でも可能な場合あり。Eメールでも可能)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	今後の大学での勉強に役立つ技能の習得、上達を目的とする。		
授業到達目標/Goal	相手に配慮した話し方ができるようになる。 自分の意見を相手に的確に伝えられるようになる。 相手の意見を理解して、それに対して意見が言えるようになる。 自分の意見をまとめ、聴く人に配慮して発表できるようになる。 時事問題や専門的な内容についての記事を理解し、それに対して自分の意見が持てるようになる。 自分の意見をまとめてレポートが書けるようになる。 必要な資料を収集して、レポートが書けるようになる。		
授業方法(学習指導法) /Method	会話練習、レポート作成、発表、読解。 ペア活動あり。		
授業内容/Class outline/Con	第1回から第5回までは会話、第7回から9回は発表、第10回から12回は読解とそれに対する意見文の作成、第13回から15回までは読解とそれに対するレポートの作成をします。会話はテストで評価します。発表とレポートは毎回の出来を評価の対象とするので、欠席するとその回の評価は0点になります。毎回まじめに授業に参加しなければ(授業に来るだけでは評価の対象になりません)落ちます。		
キーワード/Key word	会話、発表、読解、意見文、資料収集、レポート作成		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	教材：必要に応じて配布。 参考図書：「日本語学習者が作文を書くための用例集」宮原彬著、凡人社、1900円+税		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業への参加度 5%、会話テスト10%、発表 30% (毎回10%×3回)、発表時の質問 10%、意見文 15% (毎回5%×3回)、レポート30% (毎回10%×3回) 出席：遅刻三回で欠席一回とみなします。		
受講要件(履修条件) /Requirements	日本語能力試験1級合格相当の日本語能力を有する留学生。		
学生へのメッセージ/Message for students	発表原稿やレポートの作成には辞書を使ってもかまいません。ただし、インターネットや本に書かれた文を使う場合は引用文の後ろに()を書いて、著者名と書かれた年を書き、最後に引用文献を書いてください。書いていない場合は剽窃(ひょうせつ)とみなし、評価せず、単位を出しません		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	4月9日：オリエンテーション、会話1-1		
第2回	4月16日 会話1-2、1-3		
第3回	4月23日 会話2-1、2-2		
第4回	4月30日 会話2-3、3-1		
第5回	5月7日 会話3-2、3-3		
第6回	5月14日 会話テスト、発表練習		
第7回	5月21日 発表1		
第8回	5月28日 発表2		

第9回	6月4日 発表3
第10回	6月11日 読解・意見文1
第11回	6月18日 読解・意見文2
第12回	6月25日 読解・意見文3
第13回	7月2日 読解・レポート1
第14回	7月9日 読解・レポート2
第15回	7月16日 読解・レポート3
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 3, 金/Fri 4
開講期間 / Class period	2015/04/01～2015/09/27, 2015/04/01～2015/09/27			
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0	
時間割コード / Time schedule code	20150589000803	科目番号 / Subject code	05890008	
科目ナンバリングコード / Numbering Code				
授業科目名 / Subject	●日本語上級 a			
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古本 裕美			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	古本 裕美			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	古本 裕美			
科目分類 / Class type	編入学生教養教育科目認定単位, 留学生用科目			
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義	
教室 / Class room	[グローバル教育・学生支援棟] セミナー室(3)			
対象学生(クラス等) / Object Student	正規学部留学生, 一般交換留学生			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	furumoto[at]nagasaki-u.ac.jp			
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部 2階(東奥)			
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日 2校時(10:30～12:00)			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	日本の大学で学ぶために必要な日本語力, 情報伝達力, 問題解決能力などを身につける。			
授業到達目標/Goal	・場面と相手にふさわしい日本語が話せたり, 書いたりできるようになること。 ・基礎的な方法で, 情報や資料を集めることができるようになること。 ・自ら課題を発見し, 他者に説明できるようになること。 ・論拠を明らかにした議論や, 効果的なプレゼンテーションができるようになること。			
授業方法(学習指導法) / Method	・授業前半は, 大学生活で必要な日本語運用能力を伸ばすために, レポート, メール, プレゼンテーションに必要な文法や語彙・表現を学ぶ。また, 友達や教職員と上手につきあうために, 日本語を通したソーシャル・スキル・トレーニングを行う。 ・授業後半は, 主体的に学習するスキルと問題解決能力を身につけるために, PBLを行う。 ・口頭運用能力と聴解力を伸ばすために, シャドーイング練習を行う。 ・LACSを利用して, 宿題の受け取り, 提出等を行う。			
授業内容/Class outline/Con	SST= Social Skills Training (ソーシャル・スキル・トレーニング) PBL= Problem Based Learning (問題基盤型学習)			
キーワード/Key word	アカデミック・ジャパニーズ, ソーシャル・スキル, 問題基盤型学習(PBL)			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業中またはLACSを通して, 資料を配布する。			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	次の4つを総合的に評価する。 1. 授業への貢献度(10%) 2. シャドーイング(10%) 3. 宿題(40%) 4. PBLでのパフォーマンス(40%)			
受講要件(履修条件) / Requirements	・プレイメントテストで受講を認められた正規学部留学生 ・プレイメントテストで受講を認められた学部所属の一般交換留学生 ・金曜日の3校時と4校時の両方に出席すること			
学生へのメッセージ/Message for students	LACSを利用して, 宿題を受け取ったり, 提出したりします。よくチェックしてください。また, LACSでは, 現在の自分の評価をチェックすることもできます。			
授業計画詳細				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
第1回	4月10日(金) オリエンテーション			
第2回	4月17日(金) メールの日本語, 【SST】関係開始スキル(「誘う」&「加わる」)			
第3回	4月24日(金) レポートの日本語, 【SST】主張性スキル(「頼む」&「断る」)			
第4回	5月1日(金) レポートの日本語, 【SST】関係維持スキル(「謝る」&「あたたかい言葉がけ」)			
第5回	5月8日(金) レポートの日本語, プレゼンテーションの日本語			
第6回	5月15日(金) 【PBL】オリエンテーション, Step1～3: 学習テーマの共有(状況理解, 問題発見)			
第7回	5月22日(金) 【PBL】Step4～5: 学習テーマの共有(問題発見, 学習計画)			
第8回	5月29日(金) 【PBL】中間プレゼンテーション			

第9回	6月5日（金） 【PBL】Step6: 個別学習（資料の収集と整理）
第10回	6月12日（金） 【PBL】Step7: 個別学習成果の共有
第11回	6月19日（金） 【PBL】Step8: プレゼンテーション準備
第12回	6月26日（金） 【PBL】プレゼンテーション（1回目）
第13回	7月3日（金） 【PBL】Step6～7: フィードバック，修正
第14回	7月10日（金） 【PBL】Step8: プレゼンテーション準備
第15回	7月17日（金） 【PBL】プレゼンテーション（2回目）
第16回	7月24日（金） シャドーイングのテスト

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 3, 火/Tue 4
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31, 2015/09/28～2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150589001101	科目番号 / Subject code	05890011
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	● 日本語上級 b		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古本 裕美		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	古本 裕美		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	古本 裕美		
科目分類 / Class type	編入学生教養教育科目認定単位, 留学生用科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[グローバル教育・学生支援棟] セミナー室(3)		
対象学生(クラス等) / Object Student	正規学部留学生, 一般交換留学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	furumoto[at]nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部 2階(東奥)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 4校時(14:30～16:00)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	・日本の大学で学ぶために必要な日本語力, 情報伝達力, 問題解決能力などを身につける。 ・授業の他に, 予習と復習にも重きを置き, 効果的な学習サイクルを身につける。		
授業到達目標/Goal	・上級レベルの文章を正確に理解し, まとめ, それを他者に正確に伝えられるようになること。 ・能動的に考えられるようになること。 ・自他の文化, 考え, 言語への理解を深めた後, その背景の分析や, 問題解決ができるようになること。 ・効果的なプレゼンテーション(情報伝達)ができるようになること。		
授業方法(学習指導法) /Method	・授業前半は, 教科書に沿って, 読解, 情報伝達, ディスカッション等を繰り返す。 ・授業後半は, 前半で扱ったテーマをもとにして, 日本人大学生を対象に意識調査を行い, その結果を発表する。 ・最終発表会に向けて, アカデミック・プレゼンテーションのためのシャドーイング練習を行う。 ・LACSを利用して, 宿題の受け取り, 提出等を行う。		
授業内容/Class outline/Con	授業前半(9月29日～12月22日)は, 教科書に沿って授業が行われる。授業後半(12月22日～1月26日)は, 受講生が日本人大学生を対象に意識調査を行い, その結果を発表する。		
キーワード/Key word	越境する文化, 変容する価値観		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	1. 『上級日本語教科書 文化へのまなざし: テキスト』(近藤安月子・丸山千歌(編著), 東京大学出版会) 2. 『上級日本語教科書 文化へのまなざし: 予習シート・語彙・文型』(近藤安月子・丸山千歌(編著), 東京大学出版会)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	次の6つを総合的に評価する。 1. 授業への貢献度(10%) 2. 宿題(30%) 3. クイズ(10%) 4. 中間試験(15%) 5. 最終発表(25%) 6. シャドーイング(10%)		
受講要件(履修条件) /Requirements	・プレースメントテストで受講を認められた正規学部留学生 ・プレースメントテストで受講を認められた学部所属の一般交換留学生 ・火曜日の3校時目と4校時目の両方に出席すること		
学生へのメッセージ/Message for students	LACSを利用して, 宿題を受け取ったり, 提出したりします。よくチェックしてください。また, LACSでは, 現在の自分の評価をチェックすることもできます。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	9月29日(火) オリエンテーション		
第2回	10月6日(火) テーマA 資料1の理解(内容把握, 語彙・文型の理解と練習)		
第3回	10月13日(火) テーマA 資料2の情報共有とディスカッション		
第4回	10月20日(火) テーマB 資料1の理解(内容把握, 語彙・文型の理解と練習)		
第5回	10月27日(火) テーマB 資料2の情報共有とディスカッション		
第6回	11月10日(火) テーマC 資料1の理解(内容把握, 語彙・文型の理解と練習)		
第7回	11月17日(火) テーマC 資料2の情報共有とディスカッション		

第8回	11月24日（火） テーマD 資料1の理解（内容把握，語彙・文型の理解と練習）
第9回	12月1日（火） テーマD 資料2の情報共有とディスカッション
第10回	12月8日（火） テーマE 資料1の理解（内容把握，語彙・文型の理解と練習）
第11回	12月15日（火） テーマE 資料2の情報共有とディスカッション
第12回	12月22日（火） 中間試験・今後の授業の進め方について
第13回	1月5日（火） 調査・発表1 テーマ決定と調査準備
第14回	1月12日（火） 調査・発表2 調査の実施と集計
第15回	1月19日（火） 調査・発表3 発表の準備
第16回	1月26日（火） 最終発表会・まとめ

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 3, 木/Thu 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31, 2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150589001102	科目番号 / Subject code	05890011
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	● 日本語上級 b		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	永井 智香子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	永井 智香子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	永井 智香子		
科目分類 / Class type	編入学生教養教育科目認定単位, 留学生用科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[グローバル教育・学生支援棟] セミナー室(3)		
対象学生(クラス等) /Object Student	学部正規留学生、学部所属交換留学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nagai@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部 2F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2239		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜 5 限		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	テレビ番組のドキュメンタリーなどを10分程度に編集したものを教材として授業を行い、日本語運用能力の向上を目指す。特に語彙と日本語の連語の知識の増加を目指す		
授業到達目標/Goal	この授業を通じて、日本語の力の向上が実感できるというだけではなく、昭和から平成のかけての時代の変化についての知識も得られるということを目指したい		
授業方法(学習指導法) /Method	ビデオを視聴することと、その内容に関するハンドアウトを使いながら授業を進める。また、毎週火曜の3校時目に小テストを行う。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	高度経済成長		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テレビ番組を編集したビデオ ハンドアウト		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小テスト50% 授業への取り組み20% 作文30% (変更の可能性あり、変更した場合は初日のオリエンテーションで伝える)		
受講要件(履修条件) /Requirements	ブレースメントテストで受講を認められた学部正規留学生 ブレースメントテストで受講を認められた学部所属の交換留学生		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション ウォーミングアップ		
第2回	日本語の書き言葉の練習		
第3回	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習		
第4回	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習		
第5回	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習		
第6回	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習		

第7回	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
第8回	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
第9回	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
第10回	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
第11回	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
第12回	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
第13回	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
第14回	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
第15回	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 3, 金/Fri 4
開講期間 / Class period	2015/09/28～2016/03/31, 2015/09/28～2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150589001103	科目番号 / Subject code	05890011
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	● 日本語上級 b		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	源島 福己		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	松島 大輔		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	松島 大輔, 源島 福己		
科目分類 / Class type	編入学生教養教育科目認定単位, 留学生用科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[グローバル教育・学生支援棟] セミナー室(3)		
対象学生(クラス等) /Object Student	留学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fgenjima@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育開発センター2階国際教育リエゾン機構教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2238		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日16:10 - 17:40		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	1990年以降、バブル経済の崩壊によって日本の経済成長は鈍化し、それに伴い様々な社会構造の変化が生じた結果、日本社会に様々な格差が生まれ拡大したといわれています。現実にはどのような格差が生じているのか、またそれはどのような貧困を生み出しているのかを様々なテーマを通して考えます。		
授業到達目標/Goal	授業の目標は、日本で社会問題となっているのはどのような格差か、またそれはどうして発生し貧困問題につながっているのかを、様々な観点から考え説明できるようになることです。		
授業方法(学習指導法) /Method	論文や雑誌、新聞記事等高度な日本語の文章を読みます。またその内容や課題レポートを通して自分で調べた内容を基にグループで議論し発表します。また数回理解度テストを実施します。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	格差、相対的貧困率、ジニ係数、ワーキングプア		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	テキストは使用しない。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業参加：発言やプレゼンテーション 10点 レポート：70点 小テスト：20点		
受講要件(履修条件) /Requirements	・ 高度な日本語の文章読解力、議論する力 ・ 英語のレポートを読む力		
学生へのメッセージ/Message for students	議論に参加して自分の意見を述べ、日本語できちんとしたレポートが書ける学生を歓迎します。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	10月2日(金) 授業オリエンテーション、DVD視聴、アンケート調査、格差と貧困について		
第2回	10月9日(金) 格差と貧困 1 男女間 文章の読解と議論		
第3回	10月16日(金) 格差と貧困 1 高齢者 文章の読解と議論		
第4回	10月23日(金) 格差と貧困 1 地域間 文章の読解と議論		
第5回	10月30日(金) 格差と貧困 1 外国人 文章の読解と議論		
第6回	11月6日(金) 格差と貧困 1 若者 文章の読解と議論		
第7回	11月13日(金) 格差と貧困 1 子供と虐待 文章の読解と議論		
第8回	11月20日(金) 格差と貧困 1 多重債務者 文章の読解と議論		
第9回	11月27日(金) 格差と貧困 1 医療 文章の読解と議論		
第10回	12月4日(金) 格差と貧困 1 教育 文章の読解と議論		
第11回	12月11日(金) 格差と貧困 1 母子家庭・父子家庭 文章の読解と議論		
第12回	12月18日(金) 格差と貧困 1 障害者 文章の読解と議論		
第13回	12月25日(金) 格差と貧困 1 少年非行 文章の読解と議論		
第14回	1月8日(金) 格差と貧困 1 米国 文章の読解と議論		
第15回	1月22日(金) 格差と貧困 1 まとめと授業評価		

